

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブの木TOYOTSU		
○保護者評価実施期間	2025年11月21日		～ 2026年 2月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっている。	子どもが自ら活動に参加したくなるよう、環境構成や声かけを工夫しました。季節の行事や自然素材を活用した活動を取り入れることで、五感を使った体験の機会を提供しました。	今後も支援計画に基づきながら、児童一人ひとりの発達段階や特性に応じた環境設定を心がけていきます。また、子どもたちの声や思いを大切に、活動内容や環境構成に積極的に取り入れていきます。
2	支援を行う前には、活動内容やねらい、配慮事項について事前に打ち合わせを行い、共通理解をもって支援にあたるよう努めています。	今後も、事前の打ち合わせとチームワークを大切に、支援後には必ず振り返りの時間を設け、実践した内容についてフィードバックを実施しています。児童の反応や支援の効果、改善点を職員間で共有し、次回の支援に活かせるよう努めています。	今後、支援のさらなる充実をはかるため、事前の打ち合わせや計画立案をより丁寧に行い、児童一人ひとりの発達や興味・関心に応じた環境設定を徹底していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員向けの研修は定期的を実施しているが、保護者や家族を巻き込んだ参加型の勉強会や交流会が開催できておらず、事業所と家庭での支援方針の統一に課題がある。	他事業所で開催される研修情報を掲示のみ提供だった。	今後、保護者さんや訪問者さんが見やすい位置に提示をする。
2			
3			